

# 事業計画書

(経営等改善資金のうち新養殖技術導入資金、資源管理型漁業推進資金および環境対応型養殖業推進資金以外の資金用)

## 1 総括表

申請者	購入設置する機器等			購入設置費	申請額
	種類名称	台数(セット数)	単価		
			円	千円	千円

## 2 設置計画

資金種類の別	機器等の種類名称	メーカー型式名称	メーカー名称および施工者名称	機器等の内容	員数	装備する漁船	購入または設置の予定時期
						登録番号 船名 総トン数 漁業種類 進水年月日 所有者氏名	

注1 記入に当たっては、次の事項に注意されたい。

- (1) 資金種類の別 —— 操船作業省力化機器等設置資金等ごとの種類を記入する。
- (2) 機器等の種類名称 —— (1)の資金の種類ごとに「自動操だ装置」「遠隔操縦装置」等と上下に重ねて記入する。
- (3) メーカー型式名称 —— 購入予定機器等のメーカー呼称型式のあるものにつき記入する。
- (4) メーカー名称および施工者名称 —— 購入予定機器等のメーカー名称および取り付けまたは装備を行う施工者の名称を記入する。
- (5) 設置の内容 —— 施設の性能・出力、制御する施設の出力または工事の内容および範囲等を記入する。

(例) 自動操だ装置 磁気コンパスパイロット式 操だ機 動力 kw  
 遠隔縦装 推進機関 PS用  
 ラン受信機 ロランA(またはC)方式  
 ラインホーラー 漁業用、電動 kw、巻揚速度 m/min  
 ネットホーラー 用 PS(動力取出装置のみの場合にあっては、取り出し出力を PSとして記入する。)  
 補機 漁船用エネルギー環境対応機関 PS  
 定速装置 用  
 すべり止め ㎡、すべり止め塗料塗布(使用量 ㎏)  
 安全カバー装置 揚網機駆動軸カバー 製、揚錨機力カバー 製  
 救命胴衣 膨張式  
 無線電話 HZ W  
 音響信号設備 モーターサイレン W  
 灯火付きブイ 白色 W  
 レーダー反射器付きブイ 多板組立式有効反射面積 ㎡

注2 次の資料を添付すること。

- (1) 機器等について、基準のしめしてあるものについては、基準を満たしていることがわかるカタログ、取扱書もしくは設計図またはこれらのコピー
- (2) 別紙の収支計画

## 3 資金計画

購入設置費	資金調達方法		
	沿岸漁業改善資金	自己資金	その他
千円	千円	千円	千円

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。

(別紙)

# 収 支 計 画 書

		最近 1 年間 ( 年度 )	今 後 の 予 想			
			年度	年度	年度	
漁 業 部 門	収 入	販 売 高	千円	千円	千円	千円
		合 計 (A)				
	支 出	販 売 手 数 料	千円	千円	千円	千円
		燃 料 費				
		漁 具 費				
		食 料 費				
		種 苗 費				
		餌 料 費				
		水 函 代				
		加 工 資 材 費				
	修 理 費					
	消 耗 品 費					
	乗 組 員 等 給 与					
	乗 組 員 等 保 険 料					
	漁 船 保 険 料					
	営 業 費					
	公 租 公 課					
	減 価 償 却 費					
	沿 岸 漁 業 改 善 資 金 償 還 金					
	そ の 他					
	合 計 (B)					
	差 引 損 益 (A - B = C)	千円	千円	千円	千円	
の 漁 業 事 業 外	収 入	千円	千円	千円	千円	
	支 出					
	(うち減価償却)					
	差 引 損 益 (D)					
収 営 業 外 支 の	営 業 外 収 入	千円	千円	千円	千円	
	営 業 外 支 出					
	(うち借入金利息)					
	差 引 営 業 外 損 益 (E)					
	経 常 損 益 (C + D + E)	千円	千円	千円	千円	

注 用紙の大きさは、日本工業規格 A 列 4 番とする。